

でしょう。見慣れた場所もちよつとした知識があることで、まったく別の意味が加わります。この地を訪れる人々に、それらを伝え、広め少しでも印象に残る旅行にしていただけのように、研修を積んでまいりたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



『観光ボランティアガイドの一員として』

毛利 由夫

この度伝統ある近江八幡ボランティアガイド協会に入会させていただきありがとうございます。

時間の余裕を持て余す歳になり、これからの過ごし方を模索時に「観光塾」を受講し一筋の光を見いだせたように思入会させていただきました。人様に話をするためには自ら学ばなければなりません。今まで知らなかったことの多さに痛感しながらも知的好奇心を高め研鑽しなければと思っております。

ガイドをさせていただくことになればお客様が、来てよかった」「また来たい」と思ってもらえるようなガイドが出来るように精進しなければと思っております。

諸先輩の方のようなガイドが出来ますようご指

導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします

ガイド先輩の話を聞かせていただきました。

ボランティアガイド25年間の思い出

村上 周子

平成3年、近江八幡市の市主催のボランティアガイド養成講座募集の記事が掲載された広報が早朝に配布されました、以前バスガイドの経験もあり自分の老後の生きがいにもなると思ひ早速申し込んだのですが既に定員となっていて落選でした。

諦めきれずに商工観光課に選考基準などをおたずねしたところ、希望者が200名なので定員50名だけ選考されたとの説明でした、後日、バスガイドの経験あるのですが補欠で入れてもらえませんかと申込みましたところ、1名補欠となりました。

講座のはじまりは、元資料館の館長だった江南先生でした、挨拶の初めに近江八幡の歴史は、私が教えるより地元の方から教えて頂くことが多くなるでしょうと言われた言葉が印象的でした



受講生のほとんどの方がお知り合いのようでした。私ひとりが異質の受講者と感じ皆さんに溶け込んでいけるか不安でした。

講座の帰り道に、何度も弱音をはくことが続きましたが、家族の励ましや、受講者の方々の励ましにささえられて講座が終了したのですが、第1期生に登録したのは37名だけでした、さて、1人前のガイドになろうとした私は、マニュアルを片手に何度も街のなかを歩きました、当時はボランティアガイドが珍しいことでもあり、親切にいろいろ教えてくれました。

NHK放送局の歌番組が近江八幡文化会館で催された時、近江八幡の歴史文化を紹介することになり、新しく発足したボランティアガイド協会の全員が出演し舞台にも登場しました、この番組は遠方の親族にも見てもらいました、また、神戸三宮駅前にて、近江八幡市のPR行事で近江八幡に来て下さいと呼びかけて資料配布を行いました、なつかしい思い出です。

近江バス主催の定期観光ツアーにガイドとして乗務する協賛事業もありました、早朝から長命寺の八百八段の石段を登って参拝し、水壺焼き陶芸の里の買物、そして水郷めぐりでお客様は舟の中で食事、午後は市内散策と八幡山村雲御所瑞龍寺のお詣りなどの終日コースでした、乗務した全員がおおいにバスガイドぶりを発揮したものです。

私ごとですが、三重県津市より講演依頼がありまして一度お断りをしたのですが、当時の会長さんから強く勧められて2名で津市にまいり、近江八幡市のボランティアガイドについてお話を致しました、私には初めての経験で勉強になりました、津市の皆さんにも大変喜んでいただきました、翌日の新聞記事に、すてきな50代と題した紹介記事が掲載されました。毎年の記念行事や研修会、交流会や親睦会なども楽